

柏原市放課後子ども教室(のびのびルーム) 令和7年度の目標と達成状況

柏原市放課後子ども教室推進事業運営委員会では、持続可能な教室運営と事業の活性化のため目標を設定し、次年度以降の事業運営に活かせるように、その達成度について評価・分析を行っています。

達成度について

A 目標を大きく上回っている。 B 目標を上回っている。
C 目標を達成している。 D 目標を下回っている。
E 目標を大きく下回っている。

目標① 「実施内容のマンネリ化解消」と「スタッフ人材不足解消」に向けた取り組みの実施。

以下の2点を令和7年度の目標と設定しました。

- ・学校や地域だけではできない専門的な知識技能を有した講師による出前プログラムを実施することにより、放課後の多様な体験活動を実現するとともに、地域の負担感を減らしつつ、市の貸出用品を活用することで、新しい内容に取り組みやすくする。
- ・「社会教育学生ボランティア(のびボラ)」を募り、各会の要望に応じて派遣する。



達成度

多様な体験活動が実施された。

B

スタッフ研修で紹介した工作が3教室で実施されたり、他校区の特色ある取り組みとして紹介した遊びを教室がその後開催されるなど、そもそもの課題であった「マンネリ化」には改善が見られ、年間実施回数も前年度を上回った。また、従事するスタッフの人数も増加しており、「人材不足」についても、改善が見られており、一定目標を達成したといえることができる。

令和8年度に向けて

今年度の成果と課題を踏まえた上で、柏原市放課後子ども教室推進事業運営委員会では、「内容の充実」「スタッフ不足解消のための学生ボランティアのさらなる活用と大学連携」を目標とし、幅広い分野、行事での大学等との連携を図り、さらなる事業の活性化を促していきたいと考えています。